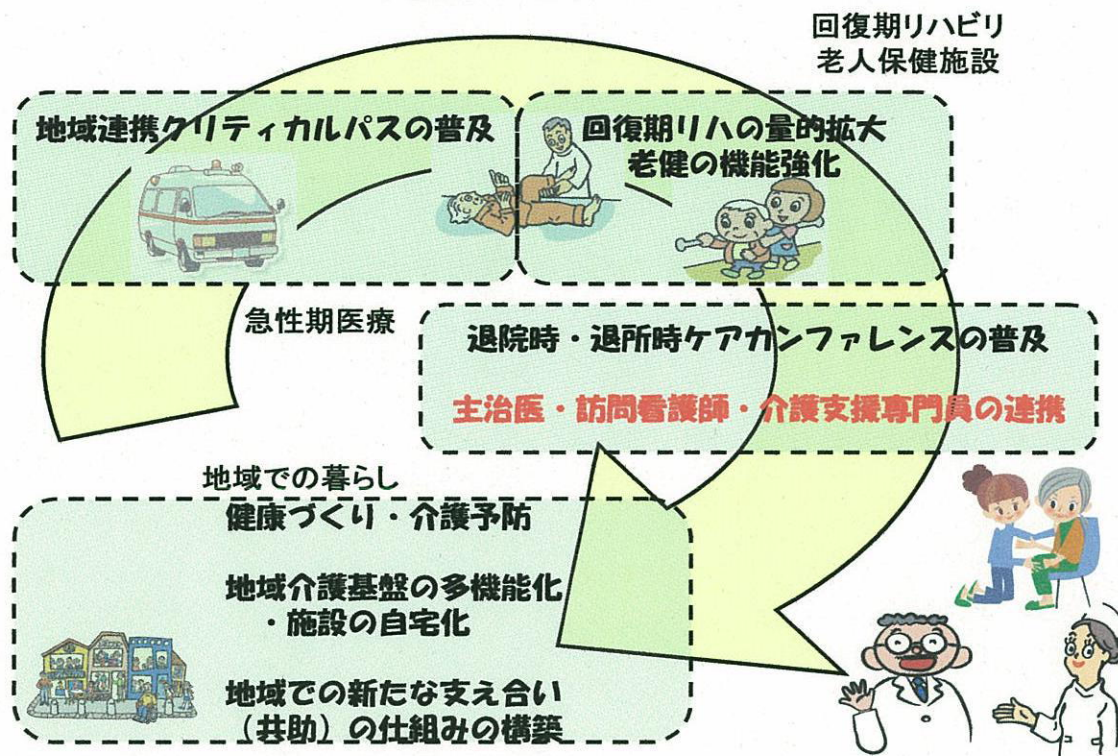


## 三重県が目指す地域ケアのイメージ ～局面からみて～



## Ⅱ 訪問看護支援事業の実施

### 1. 事業実施に至った経緯

- 三重県の訪問看護ステーションの従事者数及び事業者数は、人口当たりではほぼ全国平均水準ではあるものの、介護保険制度導入後、事業者数は伸び悩んでおり、サービス量も全国平均を大きく下回る状況。(ステーション数 2000年度63箇所→2009年度82箇所。一方、デイはこの間、140箇所→542箇所まで急増)。
- 県として地域ケアの確立を目標とする以上、在宅医療・看護・介護の連携は不可欠であり、「訪問看護の供給量拡大が至上命題」との認識を持っていた。
- このような中、国の平成21年度概算要求で「訪問看護支援事業」が盛り込まれたことを知り、このモデル事業を積極的に活用することが突破口にならないかと考え、「みえ高齢者元気・かがやきプラン」の“50の具体的行動”の一つにも位置づけ、平成21年度当初から事業に取り組んできた。